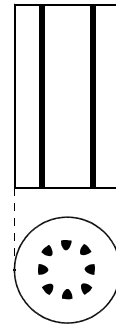
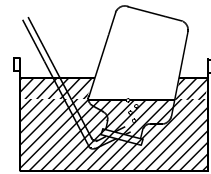


解 答

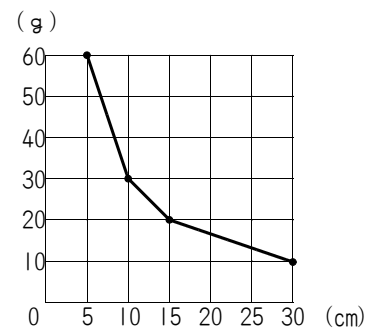
- ① (1) 1.5
(2) 図①
(3) ウ, カ
- ② (1) ① イ ② イ (2) ア (3) ウ (4) ウ
- ③ (1) 百葉箱
(2) ① ウ ② ア
(3) イ・ウ・ア
- ④ (1) A はくちょう座 B ベガ C アルタイル
(2) 夏の大三角 (3) 西 (4) ア
- ⑤ (1) ① イ ② ク ③ オ ④ キ
(2) 図②
(3) ① 酸素 イ チッ素 ウ 二酸化炭素 ウ
② ア 酸素 イ 助燃性 ウ チッ素と二酸化炭素
(4) ① ア 減り イ 変わらず ウ 増える
② ウ ③ すぐ火が消える
- ⑥ ①, ⑤
- ⑦ (1) (例) 磁石を近づける。 (2) (例) 重さをはかる
(例) 塩酸に入れる。 など
- ⑧ (1) 図③
(2) ア × イ 60 ウ 40 エ 30 オ × カ 20



(図①)



(図②)



(図③)

解 説

- ① (1) 水500mLの重さは500gなので、食紅の重さは1.5g (500×0.003) です。
(2)・(3) 植物は根からすい上げた水を、道管によってくきや葉に送っています。また、蒸散作用^{じょうさん}によって、葉にある気孔^{きこう}から水蒸気を出します。
- ② メダカを飼育するときは、水そうを直射日光の当たらない明るい場所におき、一昼夜くみおいた水を使います。ミジンコなどの動物プランクトンをえさとし、水草の光合成によってできる酸素を吸収します。卵は水そうの水草にうみつけ、大きさは直径およそ1.2mmです。メダカの卵がうみつけられてからふ化までの日数は、「温度×日数＝250」という式で求めることができ、これを積算温度といいます。水温25℃では、10日 ($250 \div 25$) ほどでふ化します。
- ③ (2) 晴れの日には、1日のうちで午後2時頃に最も気温が高くなります。雨の日には、1日を通してあまり変化は見られません。
(3) 天気は、西から東へと変わります。
- ④ (3)・(4) 夏の大三角が図のように見えるのは、西の空にあるときです。このとき、反対の空に見えるのは冬の星座であるオリオン座です。
- ⑤ 空気にはチッ素が約78%、酸素が約21%、二酸化炭素が約0.03%ふくまれています。このうち、酸素には物を燃やすはたらきがあります。
- ⑥ ④ 「きつくしっかりと」が誤りです。ねじが回ることを確かめたあと閉めるまでは正しいですが、きつく閉めすぎるとガスの量を調節する針がいたむことがあるので、無理のない力で回るところまで閉めるようにします。
⑥ 「できるだけ多くの空気」が誤りです。空気を多く入れすぎると火が消えることがあり、ガスがもれてしまうため危険です。青いガスバーナーの火の中に、三角形の火ができるくらいまで空気を入れます。
- ⑧ (2) 「重さ×支点からのきより」は、左のうでで600 (30×20) になっています。おもりが残り7個 ($10 - 3$) であることに注意して、「重さ×支点からのきより」が600になるように、重さを求めていきます。